

3 記録から「事例」へ




記録にした子どもたちの言動を基に、主題につながる読み取りをするには、メモや観察記録を事例としてまとめることが有効です。その時、「考察の観点」を明らかにして、“知りたいことが分かりやすいまとめ方”をすることが重要です。記録を観点に沿って考察することにより、主題に迫る子どもの体験や変容を把握することができます。今後の保育の方向性を見出すことにも繋がります。また、記述の仕方を工夫することにより、子どもの姿と考察との結び付きが明確になります。

読み取った場面を事例にする

学校法人中沢学園 みなみ若葉幼稚園（福島県）

「科学する心」の動きや積み重ねが見られた記録の子どもの姿や言葉の記述を分析し、保育者が読み取った内容により、「心がときめいた瞬間」を桃「心がはずんだ場面」を橙「心の広がり」を緑で表した。すると、子どもの想いや体験が明らかになり、考察や援助の方向が見えてきた。

心がときめいた瞬間 … 出会った事象に喜びや嬉しさ、驚きを、自分の言葉・自分の身体で表現している姿
 心がはずんだ場面 …… “不思議・面白そう・何だろう”と、心がときめいた事象に自ら関わろうとした場面
 心の広がり …………… 喜びや驚き、疑問を友達や保育者と伝え合い、解決しようと取り組み、新たな疑問が生まれた場面

子どもの姿	●保育者の援助 ☆保育者の願い・気付き・反省
<p>○園庭の脇の自然園では</p> <p>「黒トンボって、蝶々みたい…。だってさあ、ふわふわ飛んでるから」</p> <p>「トンボはスイスイ飛ぶけど、蝶々はふわふわしてるよね」とまねて動き始める。</p> <p>「あっ、トンボはとまった時、羽を広げてるけど、蝶々は（羽を）くっ付けてるもんね」 「黒トンボじゃなくて、黒蝶々??？」と、笑っている。 「だけど、羽はトンボだよ！」</p> <p>○室内プールに入ると</p> <p>「うわー、黒トンボがいっぱいいるー」</p> <p>「なんで、いっぱいいるの？」 「お水飲みに来たのかな？」 「トンボは水が好きだからだよ」</p> <p>そ〜っと…</p>   	<p>☆黒トンボに興味を持ち始めた。追いかけているが、動きや特徴に気付いて欲しい。</p> <p>●捕まえない気持ちと、ハグロトンボに対する興味が比例するように、一緒にハグロトンボを追いかけた。</p> <p>☆正式名称はハグロトンボだが、子どもたちが自然に命名した黒トンボと、呼ぶことにした。</p> <p>●赤トンボとは違う飛び方をしていることに気付いて欲しいと思い、子どもと一緒にハグロトンボの動きを真似ながら、追いかけた。</p> <p>●心が動く時、体にも表れる。共感する仲間がいることで、さらにハグロトンボに親近感を感じ、もっと知りたい気持ちへ繋がってくれればと思い、嬉しそうに真似ている子ども達と一緒に動き、喜びを共感した。</p> <p>☆トンボと蝶々の特徴を捉えることに感心した。確かにトンボは羽を広げているが、蝶々はとじている。その観察力を伸ばしたい。</p> <p>●羽の動きに注目し観察していたことは、素晴らしい気付きだと褒めた。</p> <p>●偶然に集まっていたハグロトンボとの出会いを、みんなが興味・関心をもつきっかけにしたいと思い、ハグロトンボのいる中でプール遊びをした。喜ぶ子、怖がる子、全然気にしない子など、様々な姿があったが、ハグロトンボの存在を受け入れたようだ。</p>

考察

『蝶々はとまっている時、羽をくっ付けている』の気付きから把握できるように、心がときめいたものに対しては、子どもたちは意欲的にじっくり見ている。好奇心が高まり積極的に関わろうとする心の動きによるものだと考えられる。

その後の工夫

幼稚園の自然環境の 素晴らしさに気付いて欲しいと、ハグロトンボに関する掲示をした。

